

こどもの発達と家庭支援⑦⑧ ～家庭支援の実際～



東北こども福祉専門学院
担当：鑑さやか

事例 1 のまとめ

使われていた保育技術

- * 健太さんと母親の「_____」
- * 靴を履く「_____」
- * 2歳児の発達に関する「_____」

保育相談支援技術については、

保育や登降園時の「_____」により、

子どもと保護者の変化に保育士が気がついた



健太さんと母親の「_____」支援方法を検討

クラス主任に相談

フリー保育士の協力を得て支援体制を確保

保護者への声かけは、

子どもの成長に着目しながら支援が進められるよう、
遊び場面の姿を伝える形で話を始めた



母親の試行錯誤に寄り添い、

「_____」 「_____」 「_____」を基本とし
必要に応じて保育場面での子どもの姿を「_____」 「_____」し
育児行為に関する「_____」した

保護者支援において大切なことは…

子どもの生活行為の獲得だけでなく

子どもの成長に伴い喜びと合間って訪れる悩みや課題について

保護者がどのように子どもの姿を捉えて関わっていくのか

保護者の試行錯誤に寄り添い

保護者の養育力の向上を支援すること



事例2のまとめ

保育所での障害児に対するかかわりは入り口

→ 個別的な配慮

障害を見据えた関わり

専門機関と手を携えながら

子どもの育ちを見守っていく必要がある

家族は？

子どもの成長に伴い、家族の不安も変化していく

↑どの家庭も一緒だけれど

子どもの発達に気がかりなことがあれば、家族の不安はより強くなる

日々の実践のなかで、「何か違う」「どうしたらいいの？」

という家族のつぶやきに丁寧に応え

不安な子育て期を一緒に歩む姿勢が求められる

